

令和五年度

附属中学校入学試験問題

国語

〔注意事項〕

- 一、試験開始の合図があるまで、問題を開かないこと。
- 二、解答は必ず解答用紙に記入すること。
- 三、出身小学校名、氏名、受験番号を解答用紙に記入すること。
- 四、試験終了の合図があつたら鉛筆をおき、解答用紙の回収がすむまで席を立たないこと。

〔一〕 次の文章と、その文章を読んだ中学生たちの会話を読んで、あとの問いに答えなさい。

高水付属中学校の校門を通りこの校舎に来るまでの間、校道の右側に三つの石碑があったのに気付いただろうか。一つ目は、一九五四年から一九六一年にかけてこの岩国校舎の整地作業に協力してくれた米軍<sup>①</sup>へ感謝の気持ちを表す記念碑。二つ目は、周南市高水に学校があったときに今の韓国<sup>かん</sup>から学びに来ていた同窓生が贈<sup>おく</sup>ってくれた「謝恩の碑」。後ろに植えられているのは韓国の国花であるムクゲで、夏から秋にかけて可憐な花をさか<sup>か</sup>せる。そして一番大きい三つ目が「楽学の碑」。周南市高水の学園発祥<sup>はつしょう</sup>の地にある「楽学の碑」の文字を写して彫<sup>ほ</sup>ったものだ<sup>②</sup>と聞く。「学」の字は読めるが、草書で書かれているため「楽」の字はまず読めない。でも、高水にとっては大切なことばだ。



分<sup>③</sup>かりやすく、『楽学』とは『楽しく学ぶ』あるいは『学ぶことを楽しむ』ことを表したことばです。」と説明することもあるが、創設一二五年の学校が大切にしてきたことばの解しやくとしてはあまりに表面的だ。もとは今から二五〇〇年ほど前に生まれた孔子<sup>こうし</sup>のことばを集めた『<sup>④</sup>』という書物にあり、「<sup>⑤</sup>びて時に之<sup>これ</sup>を習う、亦<sup>また</sup>説<sup>ま</sup>ばしからずや。朋<sup>とも</sup>有り遠方より来たる、亦<sup>⑥</sup>しからずや。」の「楽」と「学」を結んで「楽学」だ。「学ぶ」とは「まねぶ」、<sup>⑦</sup>「<sup>⑧</sup>」<sup>⑨</sup>手本を真似<sup>まね</sup>すること。「習<sup>⑩</sup>」という漢字は「羽」と「白」から成り、ひな鳥が何度も羽根をバタバタさせ、巣から飛び立つ練習をするさまを表しているという。繰り返し練習するなかで身につけることをいうのが「習」だ。また「朋」はただの遊び友達というのではない。同じ学問を志す同門の仲間のことを「朋」という。<sup>⑪</sup>「<sup>⑫</sup>」、<sup>⑬</sup>「<sup>⑭</sup>びて…」の一節の解しやくは「教えてもらったことを機会があるごとに復習し身につけていくことは、なんと喜ばしいことではないか。同門の友が遠方からやって来て

学問について共に語り合うのは、なんと楽しいことではないか。」ということになる。「楽学」とは友と学び、繰り返し復習し、学問が身につく喜びを表したことばだ。

⑧、「漢字を覚えるとき、繰り返し書いて覚えますね。苦勞の末に漢字が身についたら嬉しい。これが『楽学』です。」という説明もいささか軽い。孔子が目指した学問は漢字や英単語をどれだけ知っているか、歴史の年号をどれだけ覚えているか、算数や理科の公式をどれだけうまく使えるかということではない。人としてどう生きるか、⑨それを政治にどう生かすかという学問だ。孔子が目指したものを漢字一字で言うなら「仁」。漢字二字なら「忠(まごころ)」と「恕(おもいやり)⑩」だ。「仁」は「人間愛」と訳すことがある。「愛」というと男女間のことのみを思うかもしれないが、⑪そうではない。戦国時代に日本をおとすれたキリスト教の宣教師たちが「神の愛」ということを日本人に伝えるために、どのように説明したらよいか考えた。彼らは「神の愛」を「神の御大切」と訳した。「愛」とは相手を「大切」に思い「大切」に接することだ。だから兄弟姉妹の「愛」もあれば親子の「愛」もある。男女間の「愛」は、たくさんある「愛」のなかの一つにすぎない。しかし、常に「愛」をもって人に接するのは難しい。孔子でも自然と人の道にそった行動ができるようになったのは七〇歳になってからだという。そうしなければいけないということを「学」んで知ってはいるが、自分の心の状態によって人を傷つけてしまうこともある。親や先生や友に注意してもらおう、⑪自分自身で反省することの繰り返しで身につけていくしかない。そして意識しなくても、自然と「忠(まごころ)」と「恕(おもいやり)」によって「仁(人間愛)」にかなった行動ができるようになったら何とすばらしいことではないか。そのために、正しく判断できる力をつけるために私たちは学習するのだ。ここに「楽学」の心がある。

「楽学」はただのきれいなことか。例えば人と接するとき、自分は相手を大切にしているかと振り返る。あるいは将来の職業を考えると、⑫この仕事は人を大切にすることにつながるかと思いをめぐらせる。また、他国とのつながりについて、「国際社会で生き残るためには」ということばのもと、他国の上に立つことを目指すありかたは、相手を大切にする

姿勢と言えるのかと立ち止まってみる。「楽学」ということは、人生のいろいろな場面で私たちの指標となる、生涯を通して心にとどめるに値することばだ。

右の文章を読んだ七人の中学生と明石先生の会話

ひかる 「『楽学』って楽しく勉強をするってことだとずっと思ってたよ。」

あおい 「楽しく勉強することも大事だけど、それだけじゃなかったのね。」

かおる 「学んだことを繰り返しやってみて、身に付いた喜びを表すことばだったんだね。」

はつね 「確かに社会の地名でも、何度も教科書を見直して、やっと覚えたときは、めっちゃうれしいじゃない。『楽学』ってそういう喜びを表すことばなのよ。」

みゆき 「そうじゃなくて、体で覚えこむ喜びを言うんじゃない？ スポーツだって、先生から教えてもらったことを何度も練習して、できたときは『やった！』って気分になるよね。そんな喜びのことだと思うよ。」

明石先生 「はつねさんもみゆきさんも間違っ**⑭**てはいないけれど、解しゃくが**⑮**という点では五十歩**⑯**歩だね。  
わかなさんはどう思う？」

わかな 「知識や技術を身につけるといっただけではなく、**⑰**生き方が身についたらいいなという願いがこめられたことばなんじゃないかな。」

みのり 「校長先生がいつも『そこに愛がありますか』**⑱**と言うけれど、言いかえれば『あなたは今、**⑲**行動ができていますか。』ということなんだね。」

問一 — 線部①「米軍」の「米」とはアメリカのことですが、次の漢字と国名の組み合わせの中から間違っているものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 英—イギリス    イ 仏—フランス    ウ 独—ドイツ    エ 加—カナダ    オ 伊—インド

問二 — 線部②「さかせる」の主語を答えなさい。

問三 — 線部③「『楽学』とは『楽しく学ぶ』あるいは『学ぶことを楽しむ』ことを表したことです。」について、

1 「楽しく学ぶ」と解しゃくするときの「楽学」のように、上の字が下の字を修飾しゅうしょくしているもの

2 「学ぶことを楽しむ」と解しゃくするときの「楽学」のように、下の字が上の字の目的語になっているものを次の中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア 清潔    イ 否定    ウ 快勝    エ 寒暖    オ 投票

問四 — ④に入る書名を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 平家物語    イ 竹取物語    ウ 枕草子まくらのそうし    エ 論語    オ おくの細道

問五 — ⑤ ⑦ ⑧ ⑨ ⑪に入る最も適当なものを次の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答

えなさい。ただし同じ記号は使えません。

ア あるいは    イ しかし    ウ そして    エ だから    オ つまり

問六 — 線部⑥「習」のように、二つの異なる漢字を組み合わせてできた漢字を一つ書きなさい。

問七 — 線部⑩「そう」とはどのようなことですか。十五字以上二十字以内で説明しなさい。

問八 — 線部⑫「この仕事は」がかかっている部分を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 人を    イ 大切にすることに    ウ つながるか    エ 思いをめぐらせる

問九 — 線部⑬「覚えられたときは、めっちゃうれしい」を正しい書きことばに直しなさい。

問十 ⑭には、はつねさんとみゆきさんの解しやくに対して筆者ならこのように評価するだろうということばが入ります。最も適当なことばを本文中より二字でぬき出して答えなさい。

問十一 ⑮に入る漢字を、一字で答えなさい。

問十二 ⑯に入ることばを、本文中のことばを使って五字以上十字以内で答えなさい。

問十三 ー線部⑰「言う」を尊敬表現に直しなさい。

問十四 あなたは高水付属中学校に入学してどのようなことを学びたいですか。理由をふくめて百字以上百二十字以内で自由に書きなさい。ただし、句読点も一字として数えます。

(二)

次の1～10の——線部の漢字の読みをひらがなで答え、カタカナを漢字に直しなさい。

- 1 暗くなってきたのでイエジを急ぐ。
- 2 金品のジュジュが行われる。
- 3 家庭ホウモンが行われる。
- 4 手を合わせてオガむ。
- 5 ヒタイの汗をぬぐう。
- 6 朝日に映えて輝く。
- 7 安易な考え方をしない。
- 8 他人に本音を話す。
- 9 遠くで汽笛が聞こえる。
- 10 木綿のシャツを着る。

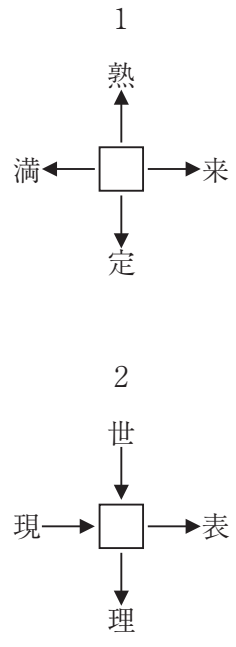
(三)

次の漢字に共通して付く部首は何ですか。

- 1 玉 寸 元      2 非 固 共
- 3 次 台 市      4 夜 也 去
- 5 売 式 成

(四)

次に当てはまる漢字一字を入れて、熟語を完成させなさい。



〔五〕

次の1～4の——線部の熟語と成り立ちが同じものを、ア～エから選び、記号で答えなさい。

- 1 良い場所がとれた。
- 2 絵本を読む。
- 3 屋根を修理する。
- 4 テレビ番組を見る。

- ア 野菜が好きだ。  
イ 台所で料理をする。  
ウ 花見に出かける。  
エ 消印を押す。

〔六〕

次の□に言葉を入れて慣用句を完成させなさい。なお、解答欄には□に入る言葉を表すイラストを選び、記号で答えなさい。

- 1 □を折る（苦勞する。精を出して働く）
- 2 □塩にかける（自分で世話をして育てる）
- 3 □であしらう（軽べつして、つめたくあしらう）
- 4 □を上げる（上達する）
- 5 □が出る（予算をこえて赤字になる）





〔七〕

左の地図をもとに駅から学校までの道のりを最もわかりやすく説明しなさい。

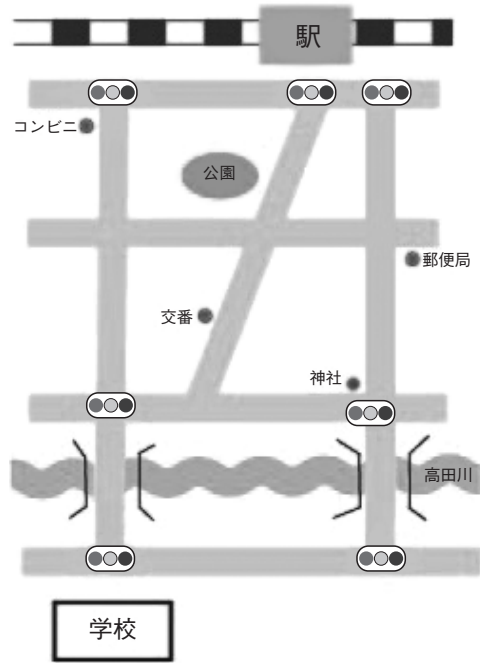
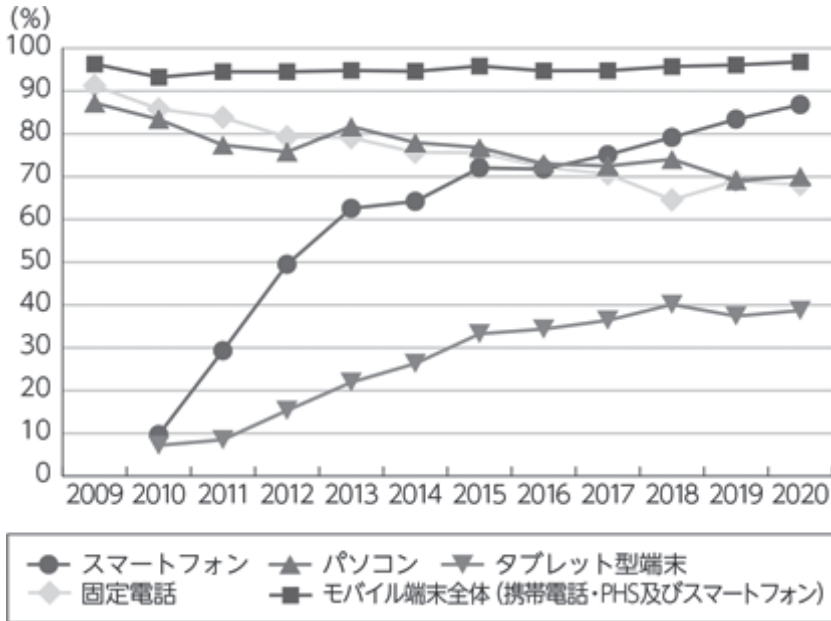


図1 情報通信機器の世帯保有数



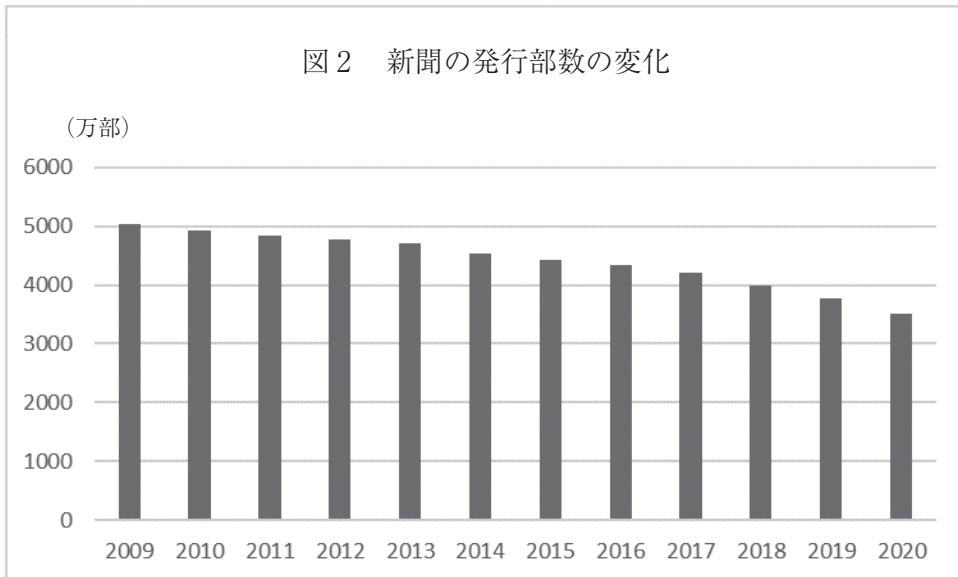
総務省「通信利用動向調査」各年版を基に作成

総務省ホームページより

〔八〕

次の図1、2から読み取れることを説明しなさい。

図2 新聞の発行部数の変化



一般社団法人 日本新聞協会

「新聞の発行部数と世帯数の推移」を基に作成

